

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入して、花祭りや草取りなど地域住民との交流を図っている。散歩時には挨拶を交わし、野菜や花などを頂くこともある。毎月入居者の日常生活や行事などの様子を書いた「日陽だより」を回覧している。ホーム主催の夏祭りにお店（みたらし・五平餅など）やゲーム（金魚すくい・風船つり）、盆踊りなどを行い、地域の方が100名程訪問し、入居者、家族、職員皆で楽しんだ。	評価
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 家族代表、町内会役員、地域包括支援センター職員、学識経験者、福祉事業関係者、代表、職員が参加して、おおむね2カ月に1回開催している。会議では行事報告や地域に寄り添うには、地域に発信するにはなどを議題にしている。メンバーから意見や助言を得て、地域から必要とされるホームづくりに取り組んでいる。会議の議事録が作成されていないので、今後はどんなことが話し合われたか議事録を作成されることを期待したい。	評価
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4） 代表が毎月手続きで区役所を訪問している。その際に事業所の様子や情報収集、雑談など行き積極的に連携を図っている。港区の連絡協議会に参加し、役所の職員や他の事業所と交流を図っている。また、介護フェアに入居者の作品を出展したことがある。	評価
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族参加の行事（夏祭り・敬老会など）や家族会議の時に、家族から意見や要望を聞いている。また、家族の訪問時に代表や職員は、困っている事や不安なことなど聞くよう心がけている。家族アンケートにも「職員はにこにこ話をしてくる」等と評価を得ている。	評価
重点項目	その他軽減措置要件 「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設して5年、地域からかなり受け入れられるようになり、入居者は地域の活動、人々との関わりを持ちながら暮らしている。「日陽だより」の回覧やホーム主催の夏祭りには子どもから大人まで多くの地域住民の参加があり、ボランティアの訪問時にも地域に呼びかけられる。運営推進会議には地域包括支援センターの職員始め、いろいろな立場の方の参加があり、地域との関わりについて話し合っている。家族会議を3カ月に1回開催し、家族の意見や要望を聞くなど、事業所のサービスの向上に努めている。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。